



石仏群上に咲いた紅白梅



発行所
比叡山時報社
jihoh@deluxe.ocn.ne.jp
大津市坂本町4220
郵便番号 520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

会報

年度会費(3000円)中に会報(比叡山時報)購読料を含む。

令和2年比叡山から
惜しき日々
日々の惜しき日々



延暦寺御用達
森忠兵衛
京都市中京区押小路烏丸東入ル
電話 075-331-2203番

森忠法衣店

「ホーホケキヨ」と鶯の鳴き声が今にも聞こえて
き、そんな陽気が続く比叡山の三月は積雪が全くなく、屋根からの落雪の心配や参道の凍結、またぬかるむことがないので、それはありがたいのですが、降り積もった雪や雨からの湧き水を生活用水として自給している比叡山では夏季に備える水不足が心配となっています。

そんな山中も日毎春めいてきましたが、すでに梅が例年より早く香りを漂わせています。今年は本当にいい日和が重なり桜の開花は今月十七日頃から始まる予想されています。

春の花を用いた四文字熟語に「桜梅桃李」いう言葉があります。これは、桜・梅・桃・李(スマモ)それぞれ色形は違うがみな素晴らしい花を咲かせ、桜が梅を嫉むことなく桃が李を疎ましく思うこともないということから、転じて私たちも人を嫉むことなく比べることなく、それぞれが個性を活かした分野で活躍することを意味しています。

伝教大師最澄さまはご臨終にあたり、集まつた弟子たちに対して「我のために仏を作ることなけれ、我のために経を写すことなけれ、我が志を述べよ」と遺されました。爾来、宗祖の御心を次の世へ守り伝えていくため、多くの先徳方が懸命に努力してこられました。

いよいよ伝教大師一千二百年大遠忌法会の年度が来月より始まります。そして、四月二日から一年二カ月をかけて全国を巡る「1200年の不滅の法灯全国行脚」が始まります。

新しい令和の時代の今だからこそ今もなお伝え続ける「宗祖の御心」であり、「一隅を照らす此れ則ち国宝なり」の御精神を、伝教大師最澄さまの素晴らしい魅力として志を述べてまいりましょう。

のりともしひ
法の灯火に心を寄せる

